



2020年11月4日

各位

会社名 株式会社三菱ケミカルホールディングス
 代表者名 代表執行役社長 越智 仁
 (コード番号: 4188 東証第1部)
 問合せ先 広報・IR 室長 清水 治
 TEL. 03-6748-7120

2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2020年5月13日に公表しました2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の同期実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、同じく2020年5月13日に公表しました2021年3月期通期業績予想についても下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 第2四半期累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)の連結業績予想と実績との差異

| | 売上収益 | コア営業利益 | 営業利益 | 四半期利益 | 親会社の所有者に 帰属する 四半期利益 | 基本的 1株当たり 四半期利益 |
|--|--------|--------|-------|-------|---------------------------|-----------------------|
| | 億円 | 億円 | 億円 | 億円 | 億円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) (2020年5月13日発表) | 15,090 | 250 | 285 | 110 | 0 | 0 00 |
| 実績 (B) | 15,048 | 546 | △281 | △399 | △497 | △34 99 |
| 増減額 (B-A) | △42 | 296 | △566 | △509 | △497 | |
| 増減率 (%) | △0.3% | 118.6% | — | — | — | |
| (ご参考)前年同期実績 (2020年3月期第2四半 期連結累計期間) | 18,277 | 1,308 | 1,306 | 1,017 | 813 | 57 27 |

税引前利益 前回発表予想 180億円 実績 △368億円

注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な原因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

2. 通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想の修正

| | 売上収益 | コア営業利益 | 営業利益 | 当期利益 | 親会社の所有者に 帰属する 当期利益 | 基本的 1株当たり 当期利益 |
|------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------------------------|----------------------|
| | 億円 | 億円 | 億円 | 億円 | 億円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) (2020年5月13日発表) | 33,340 | 1,400 | 1,370 | 770 | 490 | 34 51 |
| 今回修正予想 (B) | 31,750 | 1,400 | 40 | △340 | △590 | △41 54 |
| 増減額 (B-A) | △1,590 | — | △1,330 | △1,110 | △1,080 | |
| 増減率 (%) | △4.8% | — | △97.1% | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (2020年3月期) | 35,805 | 1,948 | 1,443 | 866 | 541 | 38 08 |

税引前利益 前回発表予想 1,140億円 今回修正予想 △160億円

注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な原因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

3. 差異及び修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきまして、コア営業利益は、機能商品セグメントにおいて半導体用途等を中心に需要が期初の想定を上回ったこと及びヘルスケアセグメントにおいて新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動自粛等によって販売費や研究開発費が減少したこと等により、前回発表予想数値を上回る結果となりました。

一方、当第2四半期に、ヘルスケアセグメントにおいてニューロダーム社（イスラエル）が開発を進めているパーキンソン病の治療薬について事業環境の変化に伴い収益性が低下したことにより当該技術に係る無形資産（仕掛研究開発費）の減損損失 845 億円を計上し、営業利益、四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前回発表予想数値を下回る結果となりました。

通期業績予想につきまして、コア営業利益は、ケミカルズセグメントにおいて MMA 等の下期の市況が期初の想定を下回る見込みであるものの、ヘルスケアセグメント等において、販売費や研究開発費が減少する見込みであることにより、前回発表予想数値からの修正はありません。営業利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は、上期に計上した無形資産の減損損失に加えて下期にもルーサイト・インターナショナル社（アメリカ）のボーモント工場閉鎖に伴う減損損失や停止関連費用の構造改革費用等の計上が想定されることにより、前回発表予想数値を下回る見込みです。

<ご参考>

セグメント別第2四半期累計期間損益（コア営業利益）（億円）

| | 実績 | 前回発表予想 | 増減額 |
|-------|------|--------|------|
| 機能商品 | 215 | 70 | +145 |
| ケミカルズ | △146 | △120 | △26 |
| 産業ガス | 356 | 340 | +16 |
| ヘルスケア | 134 | 10 | +124 |
| その他 | △13 | △50 | +37 |
| 合計 | 546 | 250 | +296 |

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上